

平成18年度落葉果樹関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤 6薬剤(128点), 生育調節剤9薬剤(80点)について、試験成績検討会は、平成19年1月24日(水)に秋て、試験成績の報告と検討が行われた。
 試験成績検討会は、平成19年1月24日(水)に秋て、試験成績の報告と検討が行われた。
 葉原 UDX において開催された。 その判定結果および使用基準については、次

この検討会には、試験場関係者69名、委託関係者27名ほか、計112名の参集を得て、除草剤の判定表に示す通りである。

平成18年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容 7ヶ所・ラインは拡大部分
1. AH-01液 (S)-2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)オキシイソイル]ブタン酸ナトリウム塩 10.5% [明治製菓]	柿	適用性 新規	愛知農総試園研 (次郎) 奈良果樹振興(上西 早生) 島根農技(西条) (3)	[一年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300mL<100, 150> 500mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハース液 300mL<100>	継	継) 効果、葉害の確認
	柿	適用性 新規	宮城園研(蜂屋) 愛知農総試園研 (次郎、富有) 島根農技(西条) (3)	[多年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ハース液 500mL<100>		
	柿	葉害 新規	宮城園研(蜂屋) 岐阜農技(富有) (2)	[葉害試験] ・春期→初夏→夏期 (3回処理) 2000mL→2000mL →2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・夏期(1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 100倍 樹幹処理 ・展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
2. AK-01液 グリホサートイソプロピルアミン 塩 41% [TAC普及会]	トト	適用性 新規	福島植防 (曉星) 愛知農総試園研 (なつおとめ、日川 白鳳) 広島果樹落葉研 (千曲) 熊本農研球磨 (日川白鳳) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 250mL<50, 100> 500mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし液 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	トト	適用性 新規	福島植防 (曉星) 愛知農総試園研 (日川白鳳) 広島果樹落葉研 (千曲) 熊本農研球磨 (日川白鳳) (4)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<50, 100> 1000mL<50> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) 三共の草枯らし液 500mL<50>		
	トト	薬害 新規	県立広島大学 (あかつき) 長野県試 (川中島白 桃) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		
3. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	ブドウ	適用性 継続	青森県試県南 (キャンベール) 長野中信農試 (カハバール) 岡山農試 (ベール-A) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 250mL<50>	実・ 継	実) [ブドウ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 スギナ生育期 (草丈 20～25cm)
	ブドウ	適用性 継続	青森県試県南 (キャンベール) 長野中信農試 (カハバール) 岡山農試 (ベール-A) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 500mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アングラーラインは拡大部分
NC-622液	ブドウ	適用性 継続	秋田果試天王 (スチューベ) <翌春> 富山農技果試 (巨峰) <翌春> 長野中信農試 (ナガノハート) <翌春> (3) 秋田果試 (スチューベ) (H17翌春) 大阪食み (H17翌春) 岡山農試 (伊豆錦) (H17翌春)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 2000mL<50>		1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 継) スギナに対する翌春の発生防止 効果について年次変動の確認
	ブドウ	葉害 継続	兵庫農技 (マスカット・リーA) 長崎果試 (ハートラック, 巨峰) (2)	[葉害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 継続	埼玉農総園研 (幸水, あきづき) 山口農試 (豊水) (2)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>	実・ 継	実) [ナシ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 継) スギナに対する効果の確認
	ナシ	適用性 継続	埼玉農総園研 (幸水, あきづき) 山口農試 (幸水) (2)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 500mL<50>		
	ナシ	適用性 新規	秋田果試天王 (幸水) <翌春> 埼玉農総園研 (幸水) <翌春> 鳥取園試 (かおり) <翌春> (3)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 2000mL<50>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アングラーは拡大部分
NC-622液	ナシ	薬害 継続	新潟農総研園研 (二十世紀) 長崎果試(豊水) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期(2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナトリ	適用性 継続	県立広島大学 (佐藤錦) 青森り試県南 (大将錦) 山形農研農生技 (佐藤錦) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>	実	実) [ナトリ: 雑草全般(スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 200～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	ナトリ	適用性 継続	県立広島大学 (佐藤錦) 青森り試県南 (大将錦) 山形農研農生技 (佐藤錦) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 500mL<50>		
	ナトリ	薬害 継続	岩手農研(佐藤錦) 山形庄内産地研 (佐藤錦) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期(2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナトリ	適用性 継続	新潟農総研園研 (平核無) 長野南信農試 (市田) 愛媛果試(愛宕) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>	実	実) [ナトリ: 雑草全般(スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 200～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 ファンダーラインは拡大部分
NC-622液	柿	適用性 継続	新潟農総研園研 (平核無) 長野南信農試 (市田) 愛媛果試 (愛宕) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラントアップ 液 500mL<50>		春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	柿	薬害 継続	岐阜農技 (富有) 奈良果樹振興 (富有) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	刈	適用性 新規	兵庫農技 (ぼろたん他) <翌春> (1)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20～25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラントアップ 液 2000mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	刈	薬害 新規	新潟農総研園研 (筑波、紫峰) 兵庫農技 (筑波) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	桃	適用性 継続	長野果試 (川中島白桃) 岡山農試 (白桃系) (2)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラントアップ 液 250mL<50>	実・継	実) [モモ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 200～500mL<25～100L>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～100>/10a (25～50L は専用ノズル使用) 茎葉処理
	桃	適用性 継続	県立広島大学 (あかつき) 長野果試 (なつき、 川中島白桃) 岡山農試 (白桃系) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラントアップ 液 500mL<50>		継) スギナに対する効果の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 続 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
NC-622液	ト	適用性 継続	県立広島大学 (あかつき) <翌春> (1)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 2000mL<50>		
	ト	薬害 継続	県立広島大学 (あかつき) 長野県試 (川中島白鳳) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期(2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ウメ	適用性 継続	宮城園研(南高) 大阪食とみどり (竜峡小梅、南高) 徳島果樹県北 (竜峡他) (3)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 200mL<25, 100> 500mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 250mL<50>	実	実) [ウメ: 雑草全般(スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 茎葉処理
	ウメ	適用性 継続	宮城園研(織姫) 愛知農総試園研 (南高) 徳島果樹県北 (竜峡他) (3)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 100> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 500mL<50>		
	ウメ	薬害 継続	宮城園研(白加賀) 大阪食とみどり (竜峡小梅、月世界) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期(2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期(1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アングラーラインは拡大部分
NC-622液	キイフル ツ	薬害 継続	神奈川根府川 (ハイワード) 香川農試府中 (讃緑) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要	-	
	イチジク	薬害 継続	愛知農総試園研 (榊井ドーフィン) 兵庫農技 (榊井ドーフィン) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 4000mL→4000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 10000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 25倍 樹幹処理 展着剤不要	-	
4. SCH-003液 グアリオートイソフ ロピ ルアミン 塩 41% [住商アグ ロインターナシヨ ナル]	モモ	薬害 継続	果樹研 (あかつき) 広島果樹落葉研 (千曲, 白鳳等) (2)	[薬害試験] ・ 春期→夏期 (2回処理) 2000mL→2000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 5000mL<50> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要	実	実) [モモ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 250～500mL<50～100L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<50～100L>/10a 茎葉処理
5. SYJ-171液 ハ ラコートシ クロリト 12. 4% [シンジェンタ ジャパン]	ブドウ	適用性 継続	富山農技果試 (ロザリオロッソ) 愛知農総試園研 (巨峰等) 兵庫農技 (紅瑞宝, 藤稔) 島根農技 (デラウェア) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) アリガ ロックスL液 800mL<100>	実	実) [ブドウ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<100～150L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草, スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1000～2000mL<100～150L>/10a 茎葉処理
	ブドウ	適用性 継続	富山農技果試 (巨峰) 山梨果試 (巨峰系) 愛知農総試園研 (巨峰等) 兵庫農技 (紅瑞宝, 藤稔) 島根農技 (デラウェア) (5)	[多年生雑草, スギナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) アリガ ロックスL液 1500mL<100-150>		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アタラクシは拡大部分
SYJ-171液	ブドウ	薬害 継続	石川砂丘地農試 (デラウェア) 島根農技 (デラウェア) (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏～初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期 (1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 継続	福島植防 (幸水) 東京農総研 (幸水、豊水、新高) 徳島果樹県北 (幸水) 大分果樹研落葉 (豊水、幸水) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) アラビックス液 800mL<100>	実・ 継	実) [ナシ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 500～1000mL<100～150L>/10a 茎葉処理 ・ 多年生雑草、スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) 1000～2000mL<100～150L>/10a 茎葉処理 継) スギナに対する効果について、 年次変動の確認
	ナシ	適用性 継続	秋田果試天王 (あきづき等) 福島植防 (幸水) 三重農研 (幸水) 徳島果樹県北 (幸水) (4)	[多年生雑草、スギナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) アラビックス液 1500mL<100>		
	ナシ	薬害 継続	秋田果試天王 (幸水) 長野南信農試 (日本ナシ実生) (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏～初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期 (1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		
	ナシ	適用性 新規	青森り試県南 (高砂他) 秋田果試 (佐藤錦) 山形農研農生技 (紅秀峰) 長野果試 (ナシ、高砂) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) アラビックス液 800mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草, ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
SYJ-171液	わたり	適用性 新規	青森県試県南 (山形美人他) 秋田県試 (佐藤錦他) 山形農研農生技 (紅秀峰) 長野県試 (高砂他) (4)	[多年生雑草, スギナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL液 1500mL<100>		
	わたり	薬害 新規	岩手農研 (佐藤錦) 山形県内産地研 (佐藤錦) (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏～初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期 (1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		
	対	適用性 新規	宮城園研 (蜂屋) 岐阜農技 (富有) 島根農技 (西条) 愛媛県試 (市田) (4)	[一年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL液 800mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	対	適用性 新規	宮城園研 (愛宕) 長野南信農試 (市田) 岐阜農技 (富有) 島根農技 (西条) (4)	[多年生雑草, スギナ] ・ 春期及び夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 1000mL<100, 150> 2000mL<100> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL液 1500mL<100>		
	対	薬害 新規	長野南信農試 (市田) 岐阜農技 (富有) (2)	[薬害試験] ・ 春期→初夏→夏～初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 夏期 (1回処理) 10000mL<100> 土壌処理 展着剤不要 ・ 春期または夏期 (1回処理) 50倍 樹幹処理 展着剤不要		

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アングラーは拡大部分
6. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シシエンタ ジャパン]	ブドウ	適用性 継続	北海道中央農試 (セイベル) (1)	[多年生雑草] ・ 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 500mL<25, 50> 1000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液 500mL<50>	実	実) [ブドウ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ スギナ対象; 春～夏期 スギナ生育期(草丈 20～25cm) 1500～2000mL<25～100L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理
	ブドウ	適用性 継続 (H17)	秋田県試天王 (スチューベン) (翌春) 新潟農総研園研 (ピ オーネ) (翌春) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<50> ・ 茎葉処理 対) ラウンドアップハイロード 液 2000mL<50>		
	ナシ	適用性 新規	県立広島大学 (幸水) (翌春) 鳥取園試 (かおり) (翌春) (2)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液 2000mL<50>	実・ 継	実) [ナシ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 継) スギナに対する効果の確認
	モモ	適用性 新規	県立広島大学 (あかつき) (翌春) 山形農研農生技 (あかつき) (翌春) 熊本農研果樹 (川中島) (翌春) (3)	[スギナ] ・ スギナ生育期(草丈25～30cm) ・ 1500mL<25, 50> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップハイロード 液 2000mL<50>	実・ 継	実) [モモ: 雑草全般 (スギナを除く)] ・ 一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 250～500mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 ・ 多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈 30cm 以下) 500～1000mL<25～50L>/10a (専用ノズル使用) 茎葉処理 継) スギナに対する効果の確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アタ・ラインは拡大部分
1. AF-1くん蒸 1-メチルシクロプロパン 3.3% [アグロフレッシュ インク]	ナシ (幸水)	適用性 継続	果樹研 (幸水) 埼玉農総園研 (幸水) (2)	[日持ち性向上] ・ 収穫当日 ・ 1000ppb (2.24mg/m ³) ・ 水に入れて発生する気体に密閉条件で4, 6時間暴露 処理方法) 容器に果実を入れ、本剤所定量を設置する→水を加え有効成分の発生を促す→容器を密閉状態とし4~6時間静置 (暴露処理) →開封する→室温に保存	実	実) [ナシ: 収穫果実の日持ち性向上] ・ 収穫直後~3 日後 ・ 500~1000ppb ・ 水に入れて発生する気体に4~24時間密閉条件で暴露
2. AF-2くん蒸成型 1-メチルシクロプロパン μg/cm (12 μg/cm ³) [アグロフレッシュ インク]	ナシ (幸水、豊水)	適用性 継続	福島果試 (幸水) 茨城園研 (豊水) (2)	[日持ち性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1cm/箱容積10L (1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を入れたコンテナまたは出荷箱を密閉容器に入れる→12~24時間静置 (暴露処理) →開封する→コンテナまたは出荷箱に入れたまま室温で保存	継	継) 効果、薬害の確認
	ナシ (幸水)	適用性 継続	果樹研 (幸水) 栃木農試 (幸水) 埼玉農総園研 (幸水) (3)	[日持ち性向上] 出荷箱内処理 ・ 収穫当日 (24時間以内) 出荷箱内処理→室温保存 ・ 1cm/箱容積10L (1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件で暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を出荷箱に入れる→テープで箱を閉じる→室温で保存する		
	ナシ (ゴールド二十世紀)	適用性 継続	鳥取園試 (ゴールド21世紀) (1)	[日持ち性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1cm/箱容積10L (1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を入れたコンテナまたは出荷箱を密閉容器に入れる→12~24時間静置 (暴露処理) →開封する→コンテナまたは出荷箱に入れたまま室温で保存		
	ナシ (平核無、市田柿、富有)	適用性 継続	長野南信農試 (市田) 岐阜農枝 (松本早生富有) 奈良果樹振興 (平核無) (3)	[日持ち性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1cm/箱容積10L (1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を入れたコンテナまたは出荷箱を密閉容器に入れる→12~24時間静置 (暴露処理) →開封する→コンテナまたは出荷箱に入れたまま室温で保存	継	継) 効果、薬害の確認

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL (水量 L) / 10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
AF-2くん蒸成型 [委託者]	肝 (西条、 刀根早 生、伊 豆)	適用性 継続	鳥取園試河原 (西条) 島根農技(西条) 福岡農総試(伊豆) (3)	[日持ち性向上] ・ 収穫当日(24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1cm/箱容積10L(1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を入 れたコンテナまたは出荷箱を密閉容 器に入れる→12~24時間静置(暴 露処理)→開封する→コンテナまたは 出荷箱に入れたまま室温で保存		
	キウイフル ツ	適用性 継続	静岡県柑試落葉 <香川農試府中> <愛媛果試> (3)	[日持ち性向上] ・ 収穫2~3日後 ・ 0.5, 1cm/箱容積10L (500, 1000ppb) 密閉容器内処理→冷蔵保存 ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実をキウイ用ポリ袋入りの箱 に入れる→所定量の製剤を箱に 入れる(収穫2日後)→ポリ袋の口 を折りたたみ、箱ごと密閉容器に 入れる→12~24時間静置(暴露処 理)→箱を取り出し冷蔵保存	継	継) 効果、葉害の確認
	キウイフル ツ	適用性 新規 (H17)	静岡県柑試伊豆 (インボールド) 香川農試府中 (さぬきゴールド) 愛媛果試 (ハイワード) (3)	[日持ち性向上] ・ 収穫2~3日後 ・ 0.5, 1, 2cm/箱容積10L (500, 1000, 2000ppb) ・ 果実を密閉容器に入れ、24時間 暴露		
3. AKD-8152水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 4. 4% [アグロネショリ]	ナシ	適用性 継続	新潟農総研園研 (王秋) 埼玉農総園研 (秀玉) 千葉農総研(秀玉、平 塚16号、王秋) 東京農総研(秀玉) 長野南信農試 (王秋) 三重農研(秀玉) 鳥取園試(王秋) 佐賀果試(秀玉) (8)	[収穫前落果防止] (1回処理) ・ 収穫開始予定21~7日前 ・ 3000, 4000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 (反復処理; 2回) ・ 1回目: 収穫開始予定21~14日 前→2回目: 1回目処理7~10日 後 ・ 4000倍→4000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	実・ 継	実) [ナシ: 収穫前落果防止] ・ 収穫開始予定日の21~7日前 ・ 1000~4000倍 <200~300L/10a> 1回散布 ・ 立木全面散布 ・ 収穫開始予定日の21~14日前 及びその7~10日後 ・ 2000~4000倍 <200~300L/10a> 2回散布 ・ 立木全面散布 注) 秀玉は落葉することがある 継) 葉害について
	西洋ナシ	作用性 新規	新潟農総研園研 (W・レッチェ) (1)	[収穫前落果防止] (1回処理) ・ 収穫開始予定21~7日前 ・ 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 (反復処理; 2回) ・ 1回目: 収穫開始予定21~14日 前→2回目: 1回目処理7~10日 後 ・ 2000倍→2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布	-	

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
4. CX-10液 シナジド 10% [日本カーバイド工業]	ブドウ	適用性 継続 (H17)	島根農試 (デラウェア) (1) 大阪食とみどり(デ ラウェア) (自主)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12~1月) ・ 5, 10倍 ・ 散布 (2回処理)	実・ 継	実) [ブドウ: 休眠打破による萌芽 促進及び発芽率の向上] 1 回処理 ・ 休眠期 ・ 10~20 倍 ・ 散布または塗布 (散布の場合、水量は 150~200 L/10a) 反復処理 ・ 休眠期 ・ 15~20 倍 2 回処理 ・ 散布または塗布 (散布の場合、水量は 150~ 200L/10a) 継) 10倍での2回処理の薬害につい て
	ナシ	適用性 継続	<富山農技果試> <茨城園研> (2)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12~1月) ・ 10, 20倍 ・ 散布	保 留	
	ウグイス	適用性 継続 (H17)	山形農研農生技 (佐藤錦) (1) 山梨果試 (佐藤錦) (自主)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12~1月) ・ 30倍 ・ 散布	実	実) [オウトウ: 休眠打破による発 芽促進] ・ 休眠期 ・ 10~30 倍<300~400L/10a> ・ 散布
	桃	適用性 継続	<山梨果試> <愛知農総試園研> <岡山農試> <香川農試府中> 山梨果試 (白鳳、日 川白鳳) (H17) (4)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (11~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布	継	継) 効果、薬害の確認
5. KT-30S液 ホルコルフェニロン 0.1% [協和発酵工業]	ブドウ (高尾)	適用性 新規 (高尾 として)	山形農研農生技 (高尾) 福島果試 (高尾) (2)	[果実肥大促進] ・ 満開時~満開7日後 ①GA (ジベレリン) 50ppm ②GA+KT (本剤): 50+5ppm ③GA+KT: 50+10ppm ・ 花房または果房浸漬	実・ 継	実) [ブドウ(高尾): 果実肥大促進] ・ 満開時~満開7日後 ・ 5~10ppm ・ 浸漬 (ジベレリンに加用または単用) 継) 年次変動の確認
KT-30S液	キウイフル ツ	適用性 継続	石川砂丘地農試 (セン セーションアップル) 香川農試府中 (讃岐 ゴールド、香緑 (2)、讃 緑) 愛媛果試 (ゴールデン キング) 静岡 (レインボーレッド) 自主)	[果実肥大促進] (散布) ・ 開花後20, 30日 ・ 1, 5, 10ppm ・ 果実散布 (浸漬) ・ 開花後20, 30日 ・ 1, 5, 10ppm ・ 果実浸漬	実	実) [キウイフルーツ (ハイワード、センセーションアップ ル、さぬきゴールド、香緑、讃緑、ゴールデン キング、レインボーレッド): 果実肥大促進] ・ 開花後20~30日 ・ 1~10ppm ・ 果実散布または浸漬処理 (果実散布は果実表面に十分付着 するよう散布する) 注) さぬきゴールドは、高濃度処理で 落果することがある

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 アンダーラインは拡大部分
6. MAE-30β水和 リン酸カルシウム 77%、 レシチン 23% [丸尾カシム]	ナシ	適用性 継続	福島果試 (幸水) 長野南信農試 (幸水、南水) (2) 兵庫北部農技 (おさゴールド) 鳥取園試 (おさゴールド) 広島果樹落葉研 (豊水) 山口農試 (豊水) (7)	[摘花] (反復処理; 2回) ・ 開花率30%時→満開時 ・ 100倍→100倍, 150倍→150倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 ・ 展着剤不要 (1回処理) ・ 満開時 ・ 75倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 ・ 展着剤不要 注) 赤なしは人工授粉当日 (2時間 以上経過後) に散布する	実 ・ 継	実) [ナシ: 摘花] ・ 開花率30%時および満開時 ・ 100~150倍、2回散布 ・ 立木全面散布または枝別散布 継) 1回処理での濃度と効果について
7. S-4089水溶 7% グリシン塩酸塩 15% [住友化学]	ナシ	作用性 継続	栃木農試 (豊水) 千葉農総試 (豊水) 高知農技果試 (新高) 熊本農研果樹 (豊水) (4)	[みづ症軽減] ・ ①収穫開始予定20日前 ②収穫開始予定10日前 ・ 1500倍 ・ 枝別散布 ・ 展着剤不要	-	
	わづ (佐藤 錦)	作用性 継続	山形農研農生技 (佐藤錦) (1)	[うるみ果の発生抑制] (反復処理; 2回) ・ 収穫開始予定5週間前→ 3週間前 ・ 1000倍→1000倍 ・ 枝別散布 ・ 展着剤を加用する	-	
	桃	作用性 継続	福島果試 (ゆうぞら) 山梨果試 (ゆめしらね) 広島果樹落葉研 (なつおとめ) 香川農試府中 (なつおとめ) 熊本農研果樹 (川中島白桃) (5)	[果実障害 (みづ症) 軽減、硬度 維持] ・ ①収穫開始予定2週間前 ②収穫開始予定1週間前 ・ 1500倍 ・ 枝別散布 ・ 展着剤不要	-	
8. ジベレリンペースト ジベレリン 2.7% [協和発酵工業]	日本ナシ	適用性 新規	神奈川農技研 (幸水、豊水、あけみ ず) (3) 岡山北部 (H17, 18: 幸水、豊水、南水、お さゴールド、新高、愛 宕 H16:愛宕) (13) (16)	[新梢伸長促進] ・ 満開7, 14日後 ・ 100mg/枝 ・ 全花除去した短果枝の基部に 塗布	実	実) [日本ナシ: 新梢伸長促進] ・ 満開7~14日後 ・ 100mg/枝 ・ 全花除去した短果枝の新梢基部 に塗布
9. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研 究会]	ブドウ	適用性 (H17 自主)	島根農技 (サニールージュ) (2)	[無種子化、果粒肥大促進、着粒密 度低減] ・ ①満開20日前→満開10~15日 後 ②満開14日前→満開10~15日 後 ・ 25ppm→25ppm ・ 花房浸漬→果房浸漬	継	継) 効果の確認